



青森県感染症発生情報 (2019年第37週)

I 第37週の発生動向 (2019/9/9~9/15)

1. 手足口病については、むつ保健所管内で警報が解除されました。東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、五所川原保健所管内では警報が継続しています。
2. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が3週連続で増加しており、過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. 水痘については、上十三保健所管内の定点当たり報告数が0.83となり、注意報基準値(1)に近づいています。
4. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型2人でした。

II 第37週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	1	0.08							1	0.11			2	0.03	-22
小児科	RSウイルス感染症	16	2.00	22	2.44	17	1.70	18	3.60	2	0.33	3	0.75	78	1.86	13
	咽頭結膜熱	3	0.38	1	0.11	2	0.20					1	0.25	7	0.17	3
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1	0.13	5	0.56	4	0.40	4	0.80	2	0.33			16	0.38	-8
	感染性胃腸炎	24	3.00	9	1.00	23	2.30	10	2.00	2	0.33	5	1.25	73	1.74	-14
	水痘	1	0.13			1	0.10			5	0.83	2	0.50	9	0.21	4
	手足口病	24	3.00	28	3.11	5	0.50	17	3.40	12	2.00	4	1.00	90	2.14	-50
	伝染性紅斑	1	0.13	1	0.11	4	0.40	1	0.20	4	0.67	1	0.25	12	0.29	-2
	突発性発しん	2	0.25	2	0.22	2	0.20	1	0.20	4	0.67	2	0.50	13	0.31	-4
	ヘルパンギーナ	8	1.00	3	0.33	3	0.30	7	1.40	12	2.00			33	0.79	-3
流行性耳下腺炎			1	0.11	3	0.30	2	0.40			1	0.25	7	0.17	2	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	2	1.00											2	0.18	0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										4	4.00	4	0.67	-2	
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

結核 第2回 (二類全数把握対象疾患)

毎年、9月24日~30日は結核予防週間です。

結核は過去の病気ではなく、今でも毎年新たに1万5000人以上の患者が発生している現代の病気です。

結核の症状は、最初は風邪の症状とよく似ていますが、たんがからむ咳や微熱、体のだるさが2週間以上続く場合は、結核の可能性がります。特に高齢者では、こうした症状が出ないことがあり、気づかないうちに進行してしまうので注意が必要です。また、結核菌に感染しても、必ずしもすぐに発症するわけではなく、体内に留まったのち再び活動を開始し、発症することがあります。

本人の重症化や他の人への感染を防ぐには、早期発見・早期治療が重要です。早期発見のためには、早めに受診することと、正しい診断に役立つ情報を医師に伝えることが必要です。受診する際には、いつもの風邪の症状とは異なることを伝えましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [結核情報\(青森県HP\)](#)

青森県 結核



正しい診断をより早く



あのとき、〇〇していれば…



いつもと違うところを医師に伝えましょう

たとえば、このようなことに心当たりはありませんか?

感染症の正しい診断に役立つ情報

☑ 痰のからむ咳が2週間以上続いている ☑ 微熱・身体のだるさが2週間以上続いている

ひとつでもチェックが入った“その時”は、結核の可能性がります。

その時、医師は…
まず喀痰の結核菌検査を行います。
※結核と診断した場合は保健所への届出が必要です。

その時、あなたは…
医師に「結核の検査は必要ありませんか?」と確認しましょう。

~その長引く症状、結核かも~

厚生労働省 結核
令和元年9月

詳細はこちら

出典: 厚生労働省ポスター

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、三戸地方1人 （2019年計：164人）
- ・クリプトスポリジウム症（四類全数把握対象疾患）：上十三1人 （2019年計：2人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：上十三2人 （2019年計：30人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第34週～第37週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵襲性インフルエンザ菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			アメーバ赤痢1人	
35	腸管出血性大腸菌感染症1人		百日咳1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	梅毒1人 百日咳1人		百日咳1人	
37					クリプトスポリジウム症1人 百日咳2人	

- ・第32週に弘前保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症1人の届出がありましたので追加しましたので、Ⅶの青森県の表に追加計上しました。
- ・第36週に弘前保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人、八戸市保健所管内で百日咳1人の届出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2019年第34週～第37週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34	1	1		1		1
35	2	3	1	1		
36		1				
37	1		1			

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第36週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	14786	4	68	2546	28	12	363	333	14	12

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ボツリヌス症
累積報告数	3	2	1	73	26	83	307	162	2	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎
累積報告数	41	9	1	1581	11	603	228	1455	57	635

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群
累積報告数	14	128	654	813	33	410	33	2351	336	3

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	4566	102	91	52	11953	2176	682	22

青森県（2019年第1週～第37週までの累計）

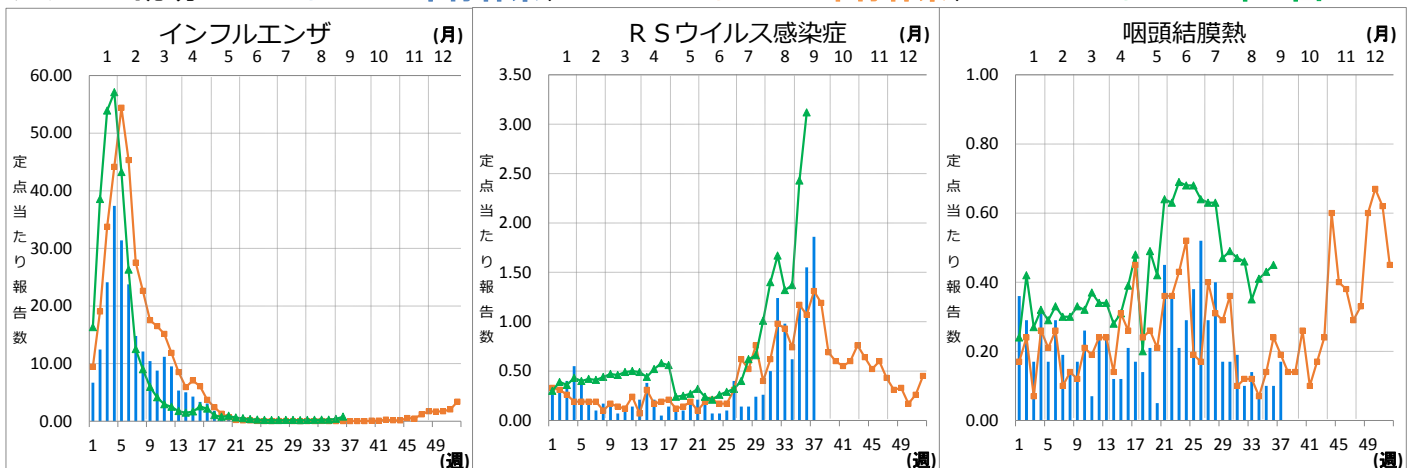
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	コクシジオイデス症	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	164	9	1	1	1	6	8	5	1	31

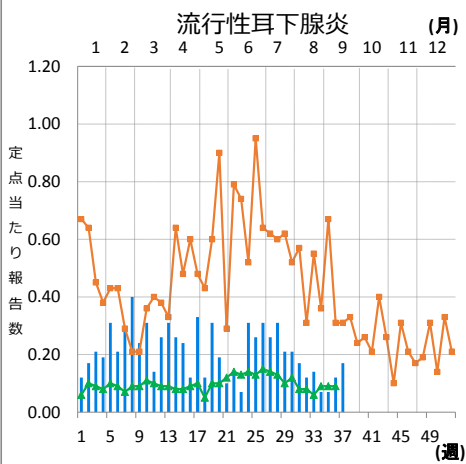
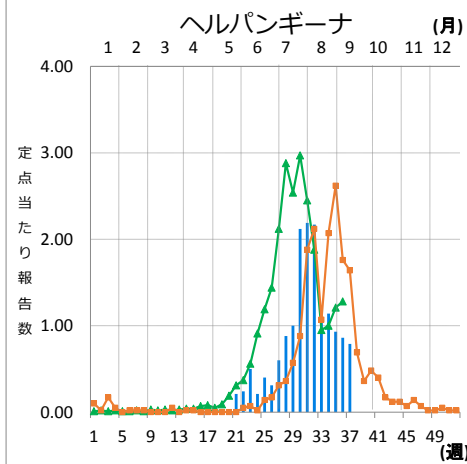
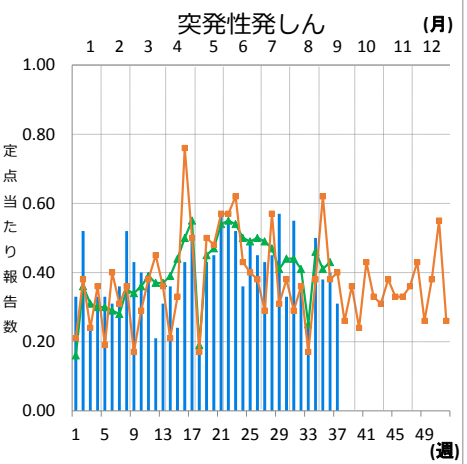
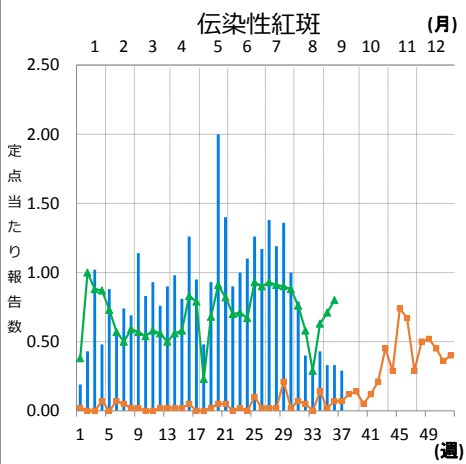
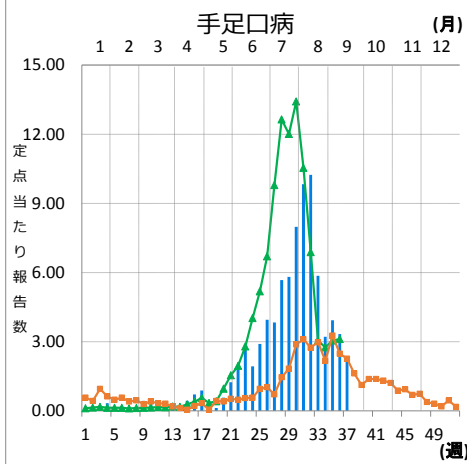
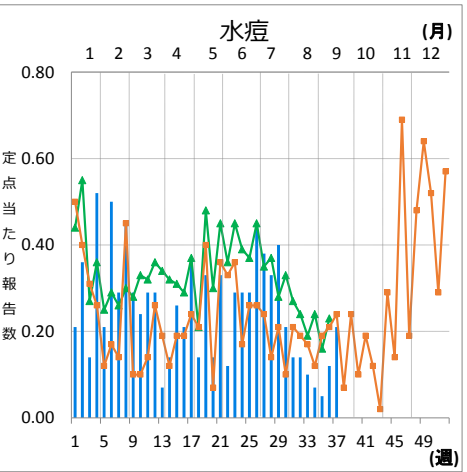
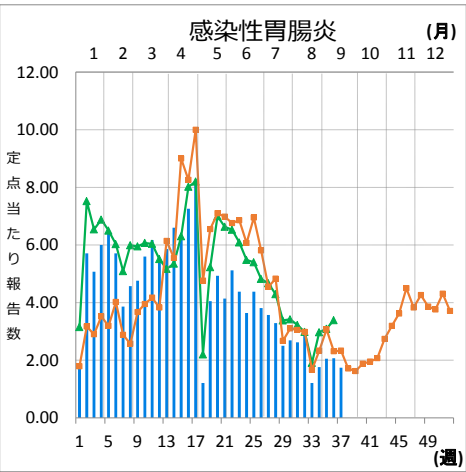
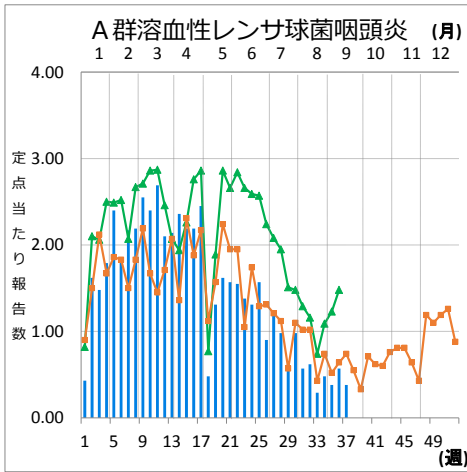
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	2	1	6	2	2	12	1	23	2

分類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	4	30

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第37週、ただし全国は前週）

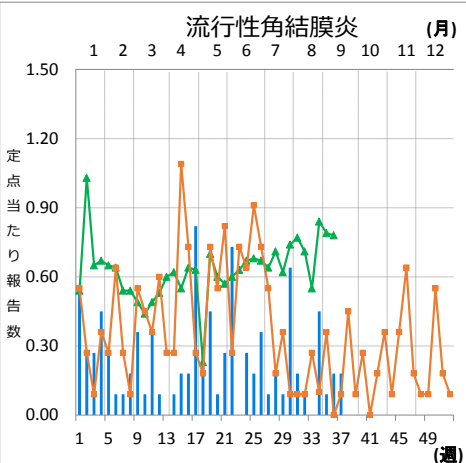
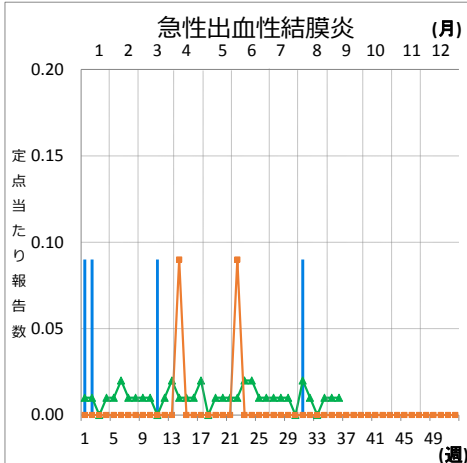
グラフの説明 ← は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





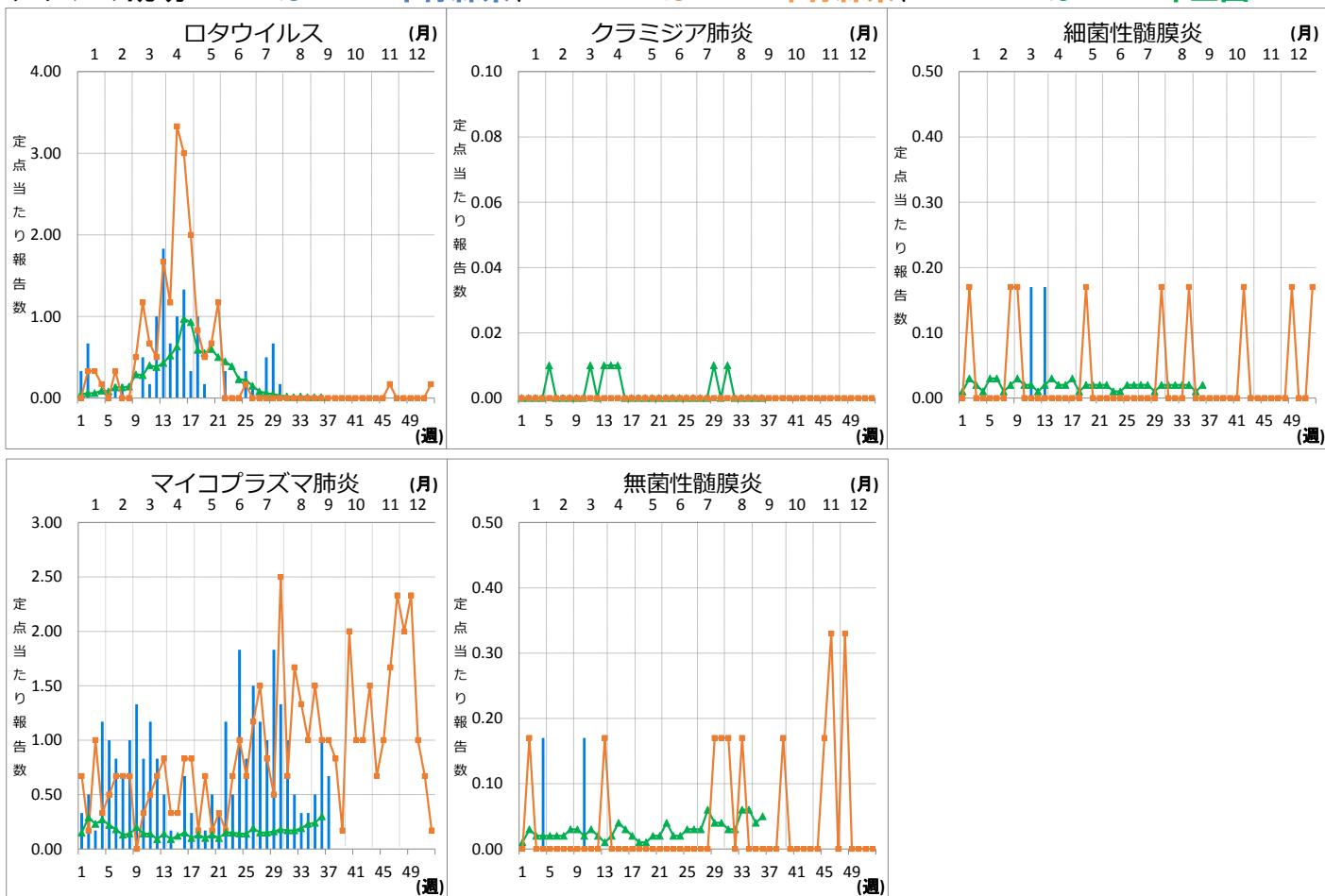
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第37週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2019年青森県、 は2018年青森県、 は2019年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第37週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← **—**は2019年青森県、**■—■**は2018年青森県、**▲—▲**は2019年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月2日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第37週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)									計 (施設別)	
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-13週	4月 14-17週	5月 18-21週	6月 22-26週	7月 27-30週	8月 31-34週	9月 35週 36週 37週		
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	29	0	24	89	0	0	0	0	0	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	2	0	0	1	0	0	13
	発症者数	69	47	17	53	14	0	0	8	0	0	208
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	0	0	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	2	0	0	1	0	0	18
	発症者数	98	95	41	160	14	0	0	8	0	0	416